

# ダットスキャン 検査予約説明書

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 体重 \_\_\_\_\_ Kg

担当医: \_\_\_\_\_

## 検査予約日

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) : \_\_\_\_\_ に注射を行います。

※検査当日はこの用紙を持って総合受付に検査の 15 分前までにお越し下さい。

検査は注射後 3 時間～6 時間の間で行います(当院では 3 時間後に撮影)

### 《注意事項》

**検査をする際に先生の指示により、今内服中のお薬の服用を中止していただくことがございます。**【三環系抗うつ薬・塩酸ラベタロール(降圧薬)・レセルピン(高血圧・精神神経治療薬)など】  
検査前及び検査中の食事制限はございません。

予定日を変更、あるいは**キャンセル**する場合は2営業日前までに下記までご連絡下さい。

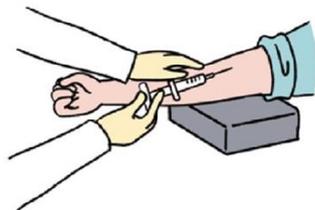
※直前のキャンセルでは注文した放射性医薬品が廃棄処分になるため、薬品代金は**実費でのご負担となります**ことを、予めご了承ください

※営業日とは、日曜・祝日を除いた病院が通常業務をしている日

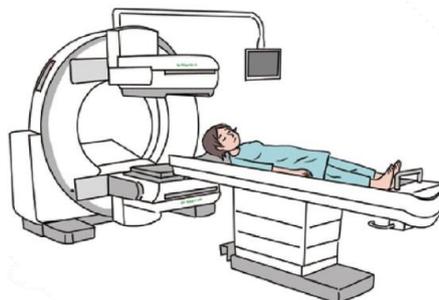
### 《検査説明》

この検査はドーパミン神経細胞やドーパミントランスポーターの減少をみる画像検査です。

1. 所定の時刻に、お薬を腕に静脈内注射します。
2. 注射後、3 時間以降～6 時間の間に撮影をします(約 30 分)  
検査はベッドの上で仰向けに寝ているだけです。



3 時間～6 時間後



検査に対してのご質問、またはご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください

秀和総合病院

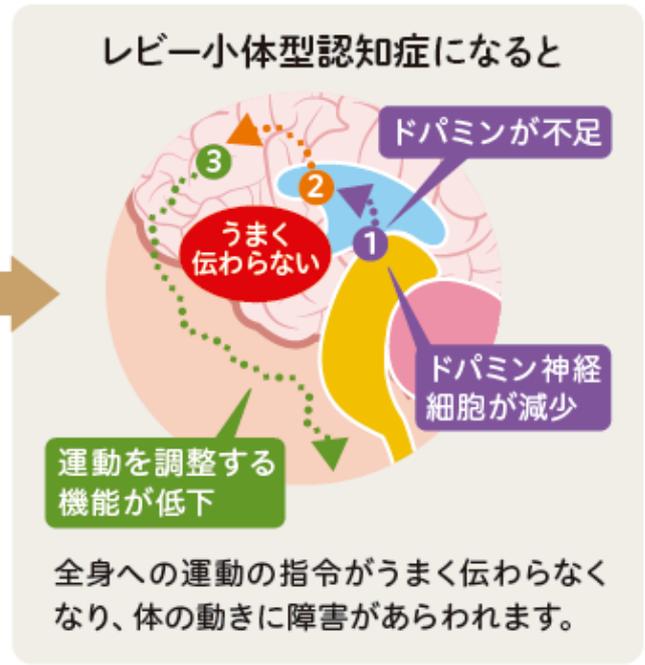
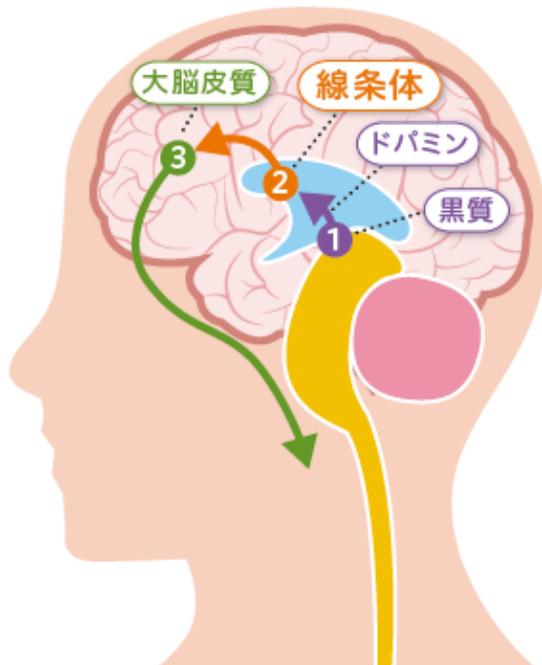
(代表) 048-737-2121 (内線) 1060

パーキンソン病の原因

脳内のドパミン神経細胞が減少

運動の調節を指令している「ドパミン」が不足し、体の動きに障害が現れる

- 1 黒質のドパミン神経でつくられたドパミンが線条体に送られます。
- 2 線条体から大脳皮質に運動を調整する指令が出されます。
- 3 指令を受けた大脳皮質から、全身に運動の指令が伝えられます。



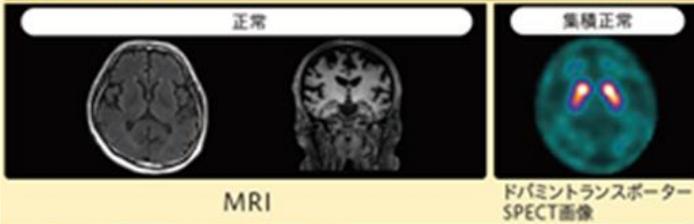
レビー小体型認知症の原因

レビー小体の蓄積

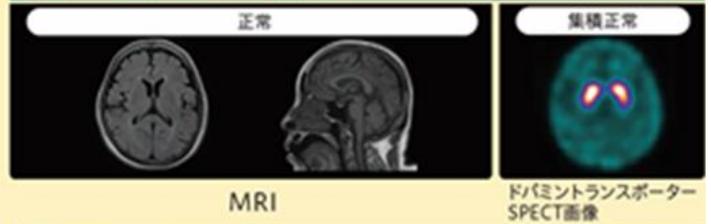
脳内のドパミン神経細胞が減少

運動の調節を指令している「ドパミン」が不足し、体の動きに障害が現れる

本態性振戦 (ET)



薬剤性パーキンソニズム (DIP)



脳血管性パーキンソニズム (VP)



多系統萎縮症 (MSA)



進行性核上性麻痺 (PSP)



特発性正常圧水頭症 (iNPH)

